

(2019年度)

2 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は24ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，試験監督者から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能を使用してはならない。また，スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけたりしてはならない。また，マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきらずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章(A～G)を読んで、後の問(1～3)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。

- A 二里头遺跡など、(ア)の各地から大規模な城壁と宮殿の遺構が発見されたが、中国ではこれらの遺跡を、『史記』に記されている(イ)に始まる夏王朝の遺跡として、公式に認定している。
- B (ウ)杭州市郊外の良渚遺跡では、巨大な祭祀壇や、精巧かつ大量の玉製品が発見され、また、これより古く、(エ)と並行する前5000年ころの新石器文化の遺跡である(ウ)余姚の河姆渡遺跡からは、稲もみや骨製の鋤、漆器や高床式の住居跡が発見された。
- C もと西方辺境の氏族であった周は、殷の支配下にはいていたが、武王の時、牧野の戦いで(オ)をやぶって殷を滅ぼし、鎬京に都をおいた。前770年ころ、遊牧民に都を攻略され、また王位継承問題による内戦もあって、洛邑に都を移した。
- D (カ)広漢市の三星堆遺跡からは、独特な青銅器や、黄金製品、子安貝などが出土した。(キ)と並行する時代のこの地域に、独自の文化が存在したことが明らかになり、各地と交易をおこなっていたことも推定される。
- E (ア)安陽市の殷墟は、(ク)が夏を滅ぼして建国して以来、遷都をくりかえした殷の遺跡で、19代王の盤庚が遷都して以降、滅亡するまでの遺跡と考えられる。出土した甲骨には、殷王が帝の神意を占った内容が、漢字の原型とされる甲骨文字で記録されている。
- F 周の諸侯となっていた秦は、孝公のとき都を咸陽に移し、(ケ)の改革によって強大化した。秦王政のとき、中国をはじめて統一し、荀子の弟子で(コ)の思想家とされる李斯を丞相として用い、中央集権策を強行した。
- G (サ)竜山の城子崖遺跡は、粗製ではあるが、日常用の厚手の土器で三足器が多い(シ)と、ろくろを使用した良質の研磨土器である(ス)によって特徴づけられる新石器文化、いわゆる竜山文化の最初に発見された遺跡である。

問1 空欄(ア～ス)に入る語はどれか。

- (ア) a 陝西省 b 山東省 c 安徽省 d 河南省
- (イ) a 舜 b 禹 c 湯王 d 堯
- (ウ) a 河北省 b 四川省 c 浙江省 d 湖北省
- (エ) a 竜山文化 b 殷 c 夏 d 仰韶文化
- (オ) a 桀王 b 紂王 c 哀王 d 幽王
- (カ) a 四川省 b 湖南省 c 江蘇省 d 浙江省
- (キ) a 仰韶文化 b 殷 c 西周 d 竜山文化
- (ク) a 成王 b 舜 c 平王 d 湯王
- (ケ) a 商鞅 b 張儀 c 韓非 d 呉起
- (コ) a 儒家 b 兵家 c 法家 d 陰陽家
- (カ) a 河北省 b 河南省 c 安徽省 d 山東省
- (シ) a 黒陶 b 櫛目文土器 c 灰陶 d 彩陶
- (ス) a 彩陶 b 灰陶 c 三彩 d 黒陶

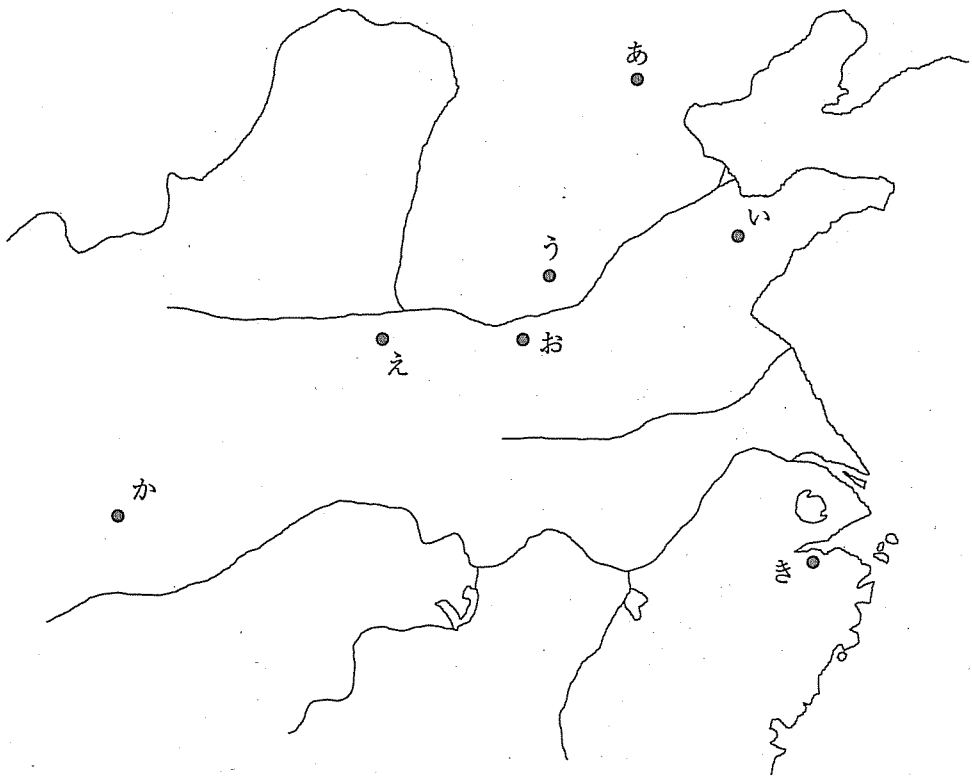
問2 上記の文章(A, B, C, F)の下線部の語についての次の問(1～7)に答えなさい。

- (1) Aの『史記』についての説明で、誤っているものは何か。
 - a 本紀と列伝などからなる紀伝体という形式をはじめて使用した。
 - b 著者は匈奴に捕らわれた將軍李陵を弁護して宮刑に処された。
 - c 著述は、著者にとっての現代である武帝の時代まで書かれている。
 - d 著作は著者の生前には完成せず、著者の死後妹が完成させた。
- (2) Bの杭州について。12世紀前半、この地に首都の機能を置いた王朝の、帝室の姓は何か。
 - a 李 b 趙 c 劉 d 周
- (3) Cの鎬京について。鎬京があった地域に、後の時代に首都を置いていた王朝は何か。
 - a 東晋 b 隋 c 三国魏 d 後梁

- (4) Cの洛邑について。洛邑があった地域に、後の時代に首都を置いていた王朝は何か。
- a 北魏 b 前漢 c 元 d 三国呉
- (5) Fの咸陽について。咸陽があった地域に、後の時代に首都を置いていた王朝の説明として正しいのは何か。
- a 党争がおこり、新法党と旧法党が対立した。
b 党錮の禁がおこり、王朝衰退の一因となった。
c タラス河畔の戦いで、アッバース朝に大敗した。
d 儒教経典解釈の基準となる『五経大全』を編纂した。
- (6) Fの荀子の説明として、正しいのは何か。
- a 名と実との一致・調和を論理的にはかろうとした。
b 価値は相対的であり、自然において万物はひとつであると説いた。
c 万人の持つ血縁にもとづく愛情を重視し、性善説や仁義を説いた。
d 性悪説をとらえ、礼による規律の維持の重要性を説いた。
- (7) Fの中央集権策についての説明で、誤っているものは何か。
- a 封建制と宗法の制度を強化した。
b 王号を超越する称号として、皇帝号をはじめて用いた。
c 度量衡、文字、貨幣の統一をはかった。
d 医薬、占い、農業以外の民間の書物を焼却させた。

問3 上記の文章(A, B, D, E, G)の太字で表記した遺跡、遺構について、
地図上で正しい位置を指定しなさい。

- | | | | | |
|-------------|-----|-----|-----|-----|
| (1) Aの二里頭遺跡 | a あ | b い | c お | d え |
| (2) Bの河姆渡遺跡 | a い | b う | c か | d き |
| (3) Dの三星堆遺跡 | a あ | b お | c か | d き |
| (4) Eの殷墟 | a あ | b う | c え | d か |
| (5) Gの城子崖遺跡 | a い | b う | c え | d き |



2 土地の所有と利用に関する次の文章を読んで、後の問(1～2)に答えなさい。

古代ローマの土地制度は、市民がローマの軍事体制にどのように組み込まれるかによって影響を受け、変化してきた。カルタゴを滅ぼして西地中海を征服した⁽¹⁾

ころのローマでは、永らくローマ軍の中心を担っていた中小農民の没落⁽²⁾がみられた。一方、属州から莫大な富を手に入れた元老院議員⁽³⁾や騎士階層は、農民が手放した土地を買い集め、戦争捕虜である奴隸⁽⁴⁾を使って大規模な農業経営を行った。この大土地所有制を(ア)という。この状況に危機感を抱いた護民官⁽⁵⁾のグラックス兄弟は、大土地所有者の土地を没収して無産市民に分配し、軍制を立て直そうとしたが、改革は大地主の抵抗を受けてあえなく挫折した。

軍人皇帝時代⁽⁶⁾、国防費がかさんで市民に重税が課されるようになると、都市の上層市民の中には、田園に移住して大所領を経営する者が現れた。彼らは、貧困化した下層市民などを小作人として大所領で働かせた。小作制あるいは(イ)と呼ばれるこの生産体制は、やがて従来の(ア)にとってかわるようになる。

ビザンツ帝国でも、新しい国防体制が土地所有の在り方を変えた。7世紀以降、帝国は国土をいくつかの軍管区にわけ、各区の司令官に軍事と行政双方の権限を与えることで、異民族の侵入に対処した。この制度を軍管区制もしくは(ウ)という。軍管区では、民に土地を与える見返りに兵役義務を課す(エ)が行われたため、小土地所有の自由農民が増え、従来の(イ)が衰退した。ところがその後、貴族が農奴を使って大土地経営を行うようになったため、11世紀以降、皇帝は中央集権を維持するために、軍役奉仕と引きかえに貴族に領地を与える(オ)を用いていくことになる。

一方、ゲルマン人の大移動後の西ヨーロッパでは、土地は軍事力をもつ者たちのあいだで、封建的主従関係⁽⁷⁾に従って分配されるようになった。封建的主従関係とは、主君が家臣に封土を与えて保護する代わりに、家臣が主君に忠誠を誓って軍事的奉仕の義務を負うという、双務的契約関係を指す。軍事力(サービス)と土地(財産)を交換するところは(エ)や(オ)と同じだが、主従双方に契約を守る義務を課す双務性は、西ヨーロッパの封建的主従関係に特有の特徴とされる。この関係は、ローマの(カ)とゲルマンの(キ)に起源があるとされる。

封建的主従関係では、主君と臣下の双方とも、大小の領地を保有する領主である。領主が保有する土地を荘園⁽⁸⁾という。荘園の農民は農奴⁽⁹⁾と呼ばれる不自由身分で、彼らと領主の間には双方を拘束する双務的契約はなく、支配と服従だけが

あった。封建的主従関係と荘園制を基盤とする封建社会は10～11世紀に成立し、西ヨーロッパ中世世界の基本的な骨組みとなった。

しかしすでに1300年頃から、封建社会のしくみは衰退に向かっていた。商業と都市が発展し貨幣経済が浸透するにつれて、荘園制に基づく自給自足の経済体制は崩れはじめた。領主は貨幣を手に入れるため、賦役をやめて直営地を分割して農民に貸し与え、生産物や貨幣で地代を納めさせるようになった。こうした展開の延長線上に、15世紀以降のイギリスで見られ、トマス＝モア⁽¹⁰⁾がその著作で痛烈に皮肉った囲い込み⁽¹¹⁾(エンクロージャー)運動がある。領主が農民の農地を取り上げて囲い込んだ土地に牧場を作り、羊毛産業で富を得るようになったのである。エリザベス1世の治世以降、イギリスが積極的な海外進出により活発な貿易を行うようになると、今度は植民地などにおいてプランテーション⁽¹²⁾という独特の生産体制が導入されていく。プランテーション経営者が大量かつ安価な労働力を求めたこともあり、17世紀以降は、古代ローマとは全く異なるしくみの奴隷貿易⁽¹³⁾が世界規模で行われるようになった。

問1 本文中の空欄(ア～キ)にあてはまる言葉をそれぞれ選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- | | | |
|-----|-----------------------|----------|
| (ア) | a ラティフンディア(ラティフンディウム) | b テマ制 |
| | c プロノイア制 | d イクター制 |
| | | e コロナトゥス |
| (イ) | a ラティフンディア(ラティフンディウム) | b テマ制 |
| | c プロノイア制 | d イクター制 |
| | | e コロナトゥス |
| (ウ) | a ラティフンディア(ラティフンディウム) | b テマ制 |
| | c プロノイア制 | d 屯田兵制 |
| | | e コロナトゥス |
| (エ) | a 従士制 | b テマ制 |
| | d 屯田兵制 | c プロノイア制 |
| | | e 恩貸地制 |
| (オ) | a 従士制 | b テマ制 |
| | d 屯田兵制 | c プロノイア制 |
| | | e 恩貸地制 |
| (カ) | a 従士制 | b 均田制 |
| | d 屯田兵制 | c 三圃制 |
| | | e 恩貸地制 |

- (キ) a 従士制 b 均田制 c 三圃制
d 屯田兵制 e 恩貸地制

問2 本文中の下線部(1~13)に関する以下の問いに答えなさい。解答は、選択肢(a~d)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

(1)に関する叙述として誤っているものはどれか。

- a フェニキア人がアフリカ北岸に建設した海港都市国家である。
- b 第1回ポエニ戦争で、ローマはカルタゴからシチリアを獲得した。
- c 第2回ポエニ戦争では、ローマはザマの戦いでハンニバルに大敗した。
- d 第3回ポエニ戦争では、ローマがカルタゴの街を徹底的に破壊した。

(2)に関する叙述として誤っているものはどれか。

- a 長期間の従軍や耕地の荒廃に加え、属州からの安価な穀物の流入が中小農民の没落を招いた。
- b 無産市民となった中小農民は首都ローマに流入して穀物と娯楽を提供されるようになったが、彼らが主力を成したローマ軍の弱体化が急激に進んだ。
- c ローマ軍の中心をなす重装歩兵は中小農民から成っていたので、それまでは彼らの政治的発言力は強かった。
- d 平民派のマリウスが武器自弁の原則をとりいれ、没落した中小農民を編入する軍制改革を行った。

(3)に関する叙述として誤っているものはどれか。

- a 共和政末期に平民派のカエサルが終身独裁官となり、属州出身者の元老院入りを可能にした。
- b 公職経験者の終身議員から構成される、共和政ローマ最高の諮問機関である。
- c 非常時の臨時職で任期1年の独裁官を指名する権限をもっていた。
- d 共和政末期の混迷期に、元老院の権威を回復しようとする保守派の閥族派が平民派と激しく対立した。

(4)に関する叙述として誤っているものはどれか。

- a ローマでは、共和政後期の征服戦争によって大量の奴隷が確保され、家内労働から農業労働、鉱山労働にわたって広く使役された。
- b 帝政期になると家内奴隷は奴隷身分から解放されることが増え、農業における奴隷の重要性も減少した。
- c 共和政中期、トラキア出身の剣闘士スパルタクスが主導した大規模な奴隷反乱が起きたが、クラッススに敗れて鎮圧された。
- d 古代ローマ法上では、奴隷は人格を認められず、財産として扱われた。

(5)に関する出来事を年代順に並べると、2番目に来るのはどれか。

- a グラックス兄弟の兄ティベリウスが護民官となって自作農創設による軍の再建を図ったが、元老院の保守派と対立して殺害された。
- b 護民官のリキニウスとセクスティウスが、コンスルの1名は平民より選出することを定めた法を成立させた。
- c 護民官を議長とする平民会の決議が元老院の承認を得ずとも国法となることを定めた、ホルテンシウス法が成立した。
- d 平民保護のための役職として、護民官が新設された。

(6)に関連した出来事として誤っているものはどれか。

- a カラカラ帝の勅令で、ローマ帝国領内の全自由人にローマ市民権が与えられた。
- b シャープール1世がエデッサの戦いでローマ皇帝ウァレリアヌスを破った。
- c 一般兵士出身の軍人が皇帝に擁立されることが多く、約50年の間に26人の皇帝が即位した。
- d ディオクレティアヌス帝がこの時代の混乱を收拾し、中央集権的な官僚制と四帝分治制を導入した。

(7)が生まれた状況の説明として誤っているものはどれか。

- a たびかさなる外部勢力の侵入から生命財産を守るため、弱者は身近な強者に保護を求めた。
- b 地域防衛の仕組みとして、西ローマ帝国の滅亡とともに本格的に出現した。
- c 貨幣よりも土地や現物が価値をもつようになり、自給自足が経済の基盤となった。
- d 民族大移動の長い混乱期に、西ヨーロッパの商業と都市は衰え、社会は農業経済に大きく頼るようになった。

(8)に関する叙述として誤っているものはどれか。

- a 領主には、国王の役人が荘園に立ち入ったり課税したりするのを拒む特権が保障されており、そのぶん領民に対する支配権も強かった。
- b 農民の共同体が裁判権をもち、一定の自治権を保有した。
- c 農奴には移動の自由がなく、また結婚税や死亡税を領主におさめる義務を負っていた。
- d 荘園は村落を中心に領主直営地・農民保有地および牧草地や森などの共同利用地から成り立つ。

(9)に関する叙述として誤っているものはどれか。

- a 中世ヨーロッパ世界の農奴は、ローマ帝政末期の小作人や没落したゲルマンの自由農民の子孫である。
- b 荘園制下の農奴には移動の自由がなく、結婚・相続の自由も制限されていたが、13世紀以降、結婚税や死亡税の撤廃や緩和が進んだ。
- c ロシア皇帝アレクサンドル2世が農奴解放令を発して農奴に身分的自由を認めたことは、ロシアの近代社会成立の契機となった。
- d プロイセンの啓蒙専制君主ヨーゼフ2世が発した農奴解放令は、農奴の人格的自由を認めたが、保守派の反発により、ヨーゼフの死後廃止された。

(10)に関する叙述として誤っているものはどれか。

- a 人文主義者として古典研究に傾倒し、エラスムスと親交を結んだ。
- b カトリックの腐敗を鋭く風刺した『愚神礼賛』を執筆した。
- c ヘンリ8世の離婚に反対して投獄され、反逆罪で処刑された。
- d 人文主義者としての研究や執筆活動とは別に、政治家としても活躍し、大法官となった。

(11)に関する次の文の中で誤っているものはどれか。

- a 囲い込みで暴力的に土地を追われた農民たちが浮浪化・極貧化して、大きな社会問題となった。
- b 18世紀になると、外貨獲得のため第2次囲い込みが非合法に行われた。
- c エリザベス1世時代の積極的な海外進出は、囲い込みによる国内の羊毛生産の増大を背景としている。
- d イギリスは14世紀後半以降から未加工の白地毛織物を輸出していたが、17世紀頃加工分野が発達し、完成品製造が可能となった。

(12)に関する叙述として誤っているものはどれか。

- a 17世紀以降、北米南部は綿花やサトウキビ、南米・カリブ海地域ではタバコが、大農園で奴隷を使役することにより栽培された。
- b 主に植民地で商品作物栽培を目的として営まれた大農園のことであり、単一の作物だけを耕作することで当地の農業構造を破壊した。
- c 北米のプランテーションでは、黒人奴隷を酷使することで採算を確保する手法がとられ、奴隷貿易を拡大させる背景にもなった。
- d イギリスの産業革命の影響で綿花の需要が拡大したことから、北米南部では綿花プランテーションが全体の7割以上を占めるようになった。

(13)に関する出来事を年代順に並べると、2番目に来るのはどれか。

- a イギリスの奴隷貿易禁止
- b ハイチ革命
- c 南北戦争開始
- d イギリスの奴隷制度廃止

3 ボナパルト家に関連する次の文章(I～VI)を読んで、後の問(1～24)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。

I ナポレオン＝ボナパルトは第一統領として強大な権力を握り、外交政策にも乗り出していった。イギリスとは、1802年に(1)の和約を結び講和した。
ローマ教皇とは、すでに1801年に宗教協約(コンコルダート)を結んだ。その後、ナポレオンは皇帝(イ)に即位すると、政府は民法典を制定し、法の下(ウ)の平等、所有権の保障、契約の自由、家族関係の尊重を定めた。

問1 空欄(1)に入る語は何か。

- a アーヘン b アミアン c ライン d ワルシャワ

問2 この時期の(ア)は誰か。

- a ウルバヌス2世 b ピウス7世 c フランシスコ
- d レオ10世

問3 下線部(イ)に関連して述べた次の文A, Bの正誤を判断し, その正しい組み合わせを選びなさい。

- A ナポレオンは, ローマ=カトリックが「フランス国民大多数の宗教」であると認めた。
- B 革命政府が没収した教会領は返還しないことを確認した。
- a A=正 B=正 b A=正 B=誤 c A=誤 B=正
 - d A=誤 B=誤

問4 下線部(ウ)の戴冠式が行われたのはどこか。

- a アミアン大聖堂 b サンサーシ宮殿
- c ノートルダム大聖堂(パリ) d サン=ピエトロ大聖堂(ローマ)

II 「ナポレオン帝国」の力の源泉は軍事力であったため, 戦争や外交において他国より優位に立つことが基本戦略の一つであった。(2)年にイギリスは, (3)・ロシアとともに第3回対仏大同盟を結んだが, フランスはイギリス以外の諸国と戦って勝利をおさめ, ティルジット条約を結んで講和した。ナポレオンはイギリスを経済的に締め付けることを目指して大陸封鎖令を^(エ)発し, フランスの支配地域におけるイギリス製品の輸入を禁止した。さらに, 彼は, 大陸封鎖令を守らないロシアに侵攻したが, 激戦の末, 退却を余儀なくされ,^(オ)1815年に最終的に退位する。

問5 空欄(2)に入る語は何か。

- a 1804 b 1805 c 1806 d 1812

問6 空欄(3)に入る語は何か。

- a オーストリア
- b オスマン帝国
- c プロイセン
- d ポルトガル

問7 下線部(エ)で誕生した国を選びなさい。

- a オランダ王国
- b ワルシャワ大公国
- c デンマーク王国
- d ナポリ王国

問8 下線部(オ)の経過を年代順に並べたとき、3番目にくるものはどれか。

- a ウィーン会議の開始
- b エルバ島への流刑
- c ライプツィヒの戦い(諸国民戦争)
- d ワーテルローの戦い

Ⅲ ナポレオン=ボナパルトの(4)ルイ=ボナパルトは、長い海外での亡命生活を送っていたが、二月革命で七月王政が崩壊するとフランスへの帰国を果たし、^(カ)憲法制定議会議員補欠選挙で^(キ)当選した。この議会は穏健な共和派が多数を占めたため、パリの労働者を中心に改革への失望が広がった。彼らはバリケードを築いてデモを展開したが武力で鎮圧された。その年の12月に行われた大統領選挙に出馬したルイ=ボナパルトは、抜群の知名度で投票総数の七割強を獲得して圧勝した。しかし、権力の所在をめぐる議会と大統領ルイとは対立を始める。(5)年12月、ルイはクーデタに訴え、議会を解散するとともに、大統領に権力を集中させる憲法案を起草して、人民投票で圧倒的な支持を得た。さらに、その1年後、帝政復活の是非を問う人民投票で、ルイ=ボナパルトは皇帝ナポレオン3世となり、第二帝政が開始した。

問9 空欄(4)に入る語は何か。

- a 弟
- b 三男
- c 孫
- d 甥

問10 下線部(カ)が起こった年の出来事はどれか。

- a イタリア王国によるヴェネツィア併合
- b カリフォルニアの金鉱発見
- c ダーヴィン『種の起源』刊行
- d ムガル帝国の滅亡

問11 下線部(キ)に関連して述べた次の文A、Bの正誤を判断し、その正しい組み合わせを選びなさい。

A 七月革命の影響で、ベルギーはオーストリアから独立した。

B フランスで初の男性普通選挙が実施された。

- a A = 正 B = 正 b A = 正 B = 誤 c A = 誤 B = 正
- d A = 誤 B = 誤

問12 空欄(5)に入る語は何か。

- a 1851 b 1853 c 1855 d 1860

IV 第二帝政下のナポレオン3世は、国内的には社会秩序の安定と産業革命の促進を目指した。そのために、共和派内部の急進派や社会主義者を弾圧すると同時に、「名望家」と呼ばれる農村の地主などの保守有力層と各地の新興ブルジョワジーの両者を満足させる経済政策を展開した。国内の鉄道網の拡充による農産物市場の整備や新たな金融機関の創設による投資資金の供給、さらに各国と通商条約を締結して自由貿易を推進し、国内産業の育成に努めた。また、セーヌ県知事(6)に命じて、大規模なパリの都市改造を実施した。

問13 下線部(ク)に関連して述べた次の文A, Bの正誤を判断し, その正しい組み合わせを選びなさい。

A 1860年にイギリスとの間で英仏通商条約が結ばれた。

B 日米修好通商条約が結ばれたのと並んで, 日本はフランスと通商条約を結んだ。

- a A = 正 B = 正 b A = 正 B = 誤 c A = 誤 B = 正
d A = 誤 B = 誤

問14 空欄(6)に入る語は何か。

- a オコンネル b オスマン c コブデン d デュナン

問15 下線部(ケ)に関連した叙述として, 誤っているものを選びなさい。

- a 民衆蜂起を防止するために, スラム街の一掃が目指された。
b 公衆衛生の環境を改善するために, 地下上下水道が建設された。
c 世界最初の地下鉄が開通した。
d 世界最初のデパートが作られた。

V ナポレオン3世をはじめ, 当時のフランスの政界・官界・財界に広く受容された社会思想が, (7)主義である。(7)は19世紀前半の社会主義思想家の一人で, すべての社会は産業に基礎をおき, 人類は労働に基づく平和な繁栄を求めると考えていた。そのために社会は効率的な生産をめざし, 宗教的な友愛精神にもとづいて組織されなければならないとした。(7)の死後, 一部の弟子によってこの思想は脱宗教化され, 社会を個人の能力に基づいて組織し, そこには経営者から労働者・小作人を含む広い意味での産業人が含まれるという思想に変化した。この考えは, 政府が主導する経済成長を正当化した。したがって, 産業革命を完了させてイギリスに追いつくために, この思想に賛同する人々は, 政策の実現に登用された。ルイ=ボナパルト自身も「馬上の(7)」と呼ばれていたが, このような(7)主義者として, 投資銀行である「動産銀行」(クレディ=モビリエ)を設立したペレール兄弟やスエズ運河建

設に尽力した(8)などがあげられる。

問16 空欄(7)に入る語は何か。

- a サン＝シモン b フーリエ c プルードン d マルクス

問17 下線部(□)に関連する叙述のうち、正しいものを選びなさい。

- a ニューコメンは、水車を動力源とする水力紡績機を発明した。
b 1832年にフランスで蒸気機関車の営業運転が開始した。
c ジョン＝ケイは、製鉄法の改良に取り組んだ。
d 綿工業で栄えたバーミンガムは、海港都市である。

問18 空欄(8)に入る語は何か。

- a シャンポリオン b ダイムラー c パストゥール
d レセップス

VI 第二帝政下での対外戦争は、クリミア戦争から始まる。オスマン帝国がイェルサレムの管理権を(9)に移したことにロシアは反発し、ギリシア正教徒の保護を名目にオスマン帝国と開戦した。この戦争でイギリス・フランス・(10)がオスマン帝国側に立って参戦した。ロシアが劣勢なうちに、1856年にパリ条約が結ばれた。1858年に、ナポレオン3世と(10)王国首相のカヴールは、プロンビエールの密約を結び、対オーストリア戦争におけるフランスの支援が約束された。翌年、(10)はフランスの支援を得て、オーストリアに勝利したが、(10)の強大化を懸念したフランスが、オーストリアと単独講和をおこなった。その結果、(10)はロンバルディアを併合したにとどまった。目を東に向けよう。1856年、イギリス船アロー号を清朝の官吏が強制捜査したことをきっかけに始まったアロー戦争(第2次アヘン戦争)で、フランスはイギリスと行動を共にした。また、インドシナ出兵や幕末日本への軍事教練団の派遣もおこなった。他方、大西洋世界に向けては、1861年から67年にかけてのメキシコ出兵が挙げられるが失敗に終わった。

問19 空欄(9)に入る語は何か。

- a イギリス国教徒
- b カトリック教徒
- c ユダヤ人
- d イスラム教徒

問20 空欄(10)に入る語は何か。

- a サルデーニャ
- b ナポリ
- c プロイセン
- d 両シチリア

問21 下線部(サ)でフランスに割譲された場所はどこか。

- a ジェノヴァ
- b ニース
- c マルセイユ
- d モナコ

問22 下線部(シ)の中心都市はどこか。

- a トリノ
- b ピサ
- c フィレンツェ
- d ミラノ

問23 下線部(ス)に関わる一連の軍事行動の後に、1860年に北京条約が結ばれる。

そこで開港が決められた都市はどこか。

- a 広州
- b 上海
- c 天津
- d 寧波

問24 下線部(セ)に関わる事件を年代順に並べたとき、3番目にくるものはどれか。

- a アメリカ＝メキシコ戦争
- b ディアス大統領の亡命
- c マクシミリアンのメキシコ皇帝即位
- d サパタの暗殺

設問1 次の文章を読み、後の問(1～15)に答えなさい。

北アメリカ大陸東部へのヨーロッパ人による進出は17世紀初頭からであり、スペインおよびポルトガルによる南北アメリカの征服・植民地化よりもかなり遅れて始まった。

イギリスが開いた最初の北米植民地は(B)であり、それは1607年に建設された(C)を起源とする。1620年には、いわゆるピルグリム＝ファーザーズが(E)に上陸し、その後(F)と呼ばれることとなる植民地の基礎を築いた。

これらの植民地は、それぞれ独自の歴史や主張を持っていたので、たがいに独立して北アメリカ大陸東海岸に併存していたといえることができる。こうした比較的小規模な植民地の中で直接民主主義的な自治を行う気風が育まれていったわけであるが、18世紀後半になるとイギリスが植民地に対する統制を強化する方針に転換する。具体的に言うならば、イギリスは、七年戦争の戦費負担などにより悪化した財政状況を改善するため、本国と植民地との間の貿易に対する管理や課税を強化したのである。

このような本国による統制強化に反発し、植民地では様々な抗議行動が起こった。(I)を除く12植民地は1774年、第1回大陸会議を開催し、本国への抗議を強めたが、(J)植民地で民兵とイギリス軍が武力衝突するに及ぶと、独立に向けた動きが加速していくことになる。

ここで注意しなければならないのは、このとき独立宣言を行っていったのは個々の植民地であったことである。その後、(K)が中心となって起草した独立宣言や(L)を最高司令官とする植民地軍は、13植民地が緩やかに連合した単位を主体とするものであったが、独立戦争を終結させたパリ条約(M)でイギリスが独立を認めたのは、現在ある「アメリカ合衆国」ではなく、個々の13植民地だったのである。「アメリカ合衆国」が1つの国家として成立するのは、憲法が批准され発効した(N)を待たなければならなかった。

問1 下線部(A)について、スペイン人が現在のメキシコおよびペルーを征服した年の組み合わせとして適切なものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 1513年と1519年 b 1513年と1521年 c 1519年と1522年
d 1519年と1533年 e 1521年と1533年

問2 空欄(B)に入るものとして適切なものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ニューイングランド b フロリダ c ルイジアナ
d ヴァージニア e ニューファンドランド

問3 空欄(C)に入るものとして適切なものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ヨークタウン b プリマス c ジェームズタウン
d フィラデルフィア e チャールストン

問4 下線部(D)の多くが信仰していたキリスト教の宗派を創始したのは誰か。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ルター b フス c トマス＝ミュンツァー
d カルヴァン e ウィクリフ

問5 空欄(E)に入るものとして適切なものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ヨークタウン b プリマス c ジェームズタウン
d フィラデルフィア e チャールストン

問6 空欄(F)に入るものとして適切なものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ニューイングランド b フロリダ c ルイジアナ
- d ヴァージニア e ニューファンドランド

問7 下線部(G)について、その説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a オーストリア継承戦争時にプロイセンが占領したシュレジエンをめぐる戦争である。
- b 開戦当初、オーストリア側にはフランスとスペインが、プロイセン側にはイギリスとロシアがそれぞれついたが、後にロシアが寝返った。
- c 当初はオーストリア側が優勢であったが、最終的にプロイセン側が形勢を逆転した。
- d 北アメリカ大陸では、フランスがアメリカ先住民と同盟してイギリスと戦った。

問8 下線部(G)は、1763年パリ条約をもって終結し、この条約によりいくつか領土変更が行われたが、その説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a カナダの大部分がフランス領からイギリス領になった。
- b ルイジアナ東部がフランス領からイギリス領になった。
- c フロリダがスペイン領からイギリス領になった。
- d ルイジアナ西部がフランス領からイギリス領になった。

問9 下線部(H)について、その説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a このときに航海法が制定され、植民地貿易からイギリス船籍以外の船が排除された。
- b このときに印紙法が制定され、植民地で印刷された公文書などに収入印紙を貼付することが義務付けられた。
- c このときに砂糖法が制定され、植民地で生産された砂糖に関税が課せられた。
- d このときに茶法が制定され、イギリス東インド会社に対し植民地における茶の販売に事実上の独占権が与えられた。

問10 空欄(I)に入る植民地名はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ヴァージニア b マサチューセッツ c ペンシルヴェニア
- d ジョージア e メリーランド

問11 空欄(J)に入る植民地名はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ヴァージニア b マサチューセッツ c ペンシルヴェニア
- d ジョージア e メリーランド

問12 空欄(K)に入る人名はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ジェファソン b ジャクソン c トマス＝ペイン
- d モンロー e ワシントン

問13 空欄(L)に入る人名はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ジェファソン b ジャクソン c トマス=ペイン
d モンロー e ワシントン

問14 空欄(M)に入る年号はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 1777年 b 1781年 c 1783年 d 1788年 e 1791年

問15 空欄(N)に入る年号はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 1777年 b 1781年 c 1783年 d 1788年 e 1791年

設問2 次の文章を読み、後の問(1～7)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。

アメリカ合衆国は、独立達成時には、北アメリカ大陸東側の限られた領域を占めるのみの、現在と比べるとはるかに小規模な国であった。しかしながら、19世紀に入ると、大陸の西側に広がるフロンティアに向けて徐々に拡大していき、フロンティアが消滅するとさらに国外へと帝国主義的な拡大を継続していくことになった。

まず(A)には、(B)以西のルイジアナを(C)から1500万ドルで購入した。1845年には、すでに1836年にメキシコから独立を宣言していたテキサス共和国を編入、それに反発したメキシコとの戦争に勝利すると、カリフォルニアにかけての地域の割譲を、やはり1500万ドルと引き換えに受けた。さらに1867年にはロシアからアラスカも買収した。

1898年にはスペインとの戦争に勝利し、(E)を領有したほか(F)を保護国化してカリブ海を押さえたほか、グアムとフィリピンをも領有し、同年併合したハワイと合わせ、太平洋上の拠点も確保した。このカリブ海と太平洋を結ぶ運河を建設するため、1903年にはパナマをコロンビアから独立させ、翌年から工事を開始した。この運河が完成したのは1914年であるが、アメリカ合衆国は運河の両側5マイルずつの領域をパナマから1000万ドルで買収し、「運河地帯」として管理・統治した。

問1 空欄(A)に入るものとして適切なものはどれか。

- a 1801年 b 1803年 c 1818年 d 1821年 e 1830年

問2 空欄(B)に入るものとして適切なものはどれか。

- a オハイオ川 b セントローレンス川 c ミズーリ川
d リオグランデ川 e ミシシッピ川

問3 空欄(C)に入るものとして適切なものはどれか。

- a アメリカ先住民 b イギリス c スペイン d フランス
e メキシコ

問4 下線部(D)について、このときのアメリカ合衆国大統領は誰か。

- a ウィルソン b セオドア＝ローズヴェルト c タフト
d フランクリン＝ローズヴェルト e マッキンリー

問5 空欄(E)に入るものとして適切なものはどれか。

- a キューバ b ドミニカ c グレナダ d プエルトリコ
e ベネズエラ

問6 空欄(F)に入るものとして適切なものはどれか。

- a キューバ b ドミニカ c グレナダ d プエルトリコ
e ベネズエラ

問7 下線部(G)について、このときのアメリカ合衆国大統領は誰か。

- a ウィルソン b セオドア＝ローズヴェルト c タフト
d フランクリン＝ローズヴェルト e マッキンリー

